

令和3年度

事業報告書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人 安那福社会

目次

1. はじめに	1
2. 法人業務の概要	1
3. 職員配置	3
4. 財務状況	4
5. 年間行事	6
6. 特別養護老人ホーム	7
7. ケアハウス(軽費老人ホーム)	10
8. デイサービス	11
9. 居宅介護支援事業所	12
10. グループホーム	13
11. 地域包括支援センター	14
12. 食事サービス	16
13. 保健衛生	17
14. ボランティア活動の状況	18

1. はじめに

令和3年度の介護報酬改定は、3年前の前回改定(+0.54%)に引き続き全体で0.7%のプラス改定となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による利用者の減や全国的な課題である介護職員等の人材不足、施設設備の老朽化への対応など当法人の財政的な安定の確保には十分なものではないと受け止め、引き続き、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

また、改定に合わせて国から示された新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力の強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」の5本の柱を受け止め、令和2年に策定した中期経営計画の事業展開に反映し、組織体制の強化、人材育成、危機管理対策など着実に実施してまいりました。

このような状況下で、令和3年度決算を見ると、事業活動増減差額(収支)は、利用者減や人件費、修繕費増などにより、前年度に引き続き、1,749万円の多額の赤字となりました。厳しい状況であり、中期経営計画で定める経営基盤強化策だけでなく、これまでの事業運営方法など抜本的な見直しが必要となっております。

今後の見直しに当たっては、これまで取り組んできた組織体制の強化や人材育成などの取組を通じて醸成された職員の強みや総合力を十分に発揮し、的確な対応が限られた人員等で実施できるよう、現在の業務・体制等について、令和3年度に引き続き、総点検を実施し、全職員が一丸となってPDCAサイクルを十分に回しながら検討してまいります。

そして、社会福祉法人安那福祉会は地域福祉の担い手として、最適な運営形態のもと、今後も持続的にサービス提供を行い、地域の介護ニーズ等に着実に応えてまいります。

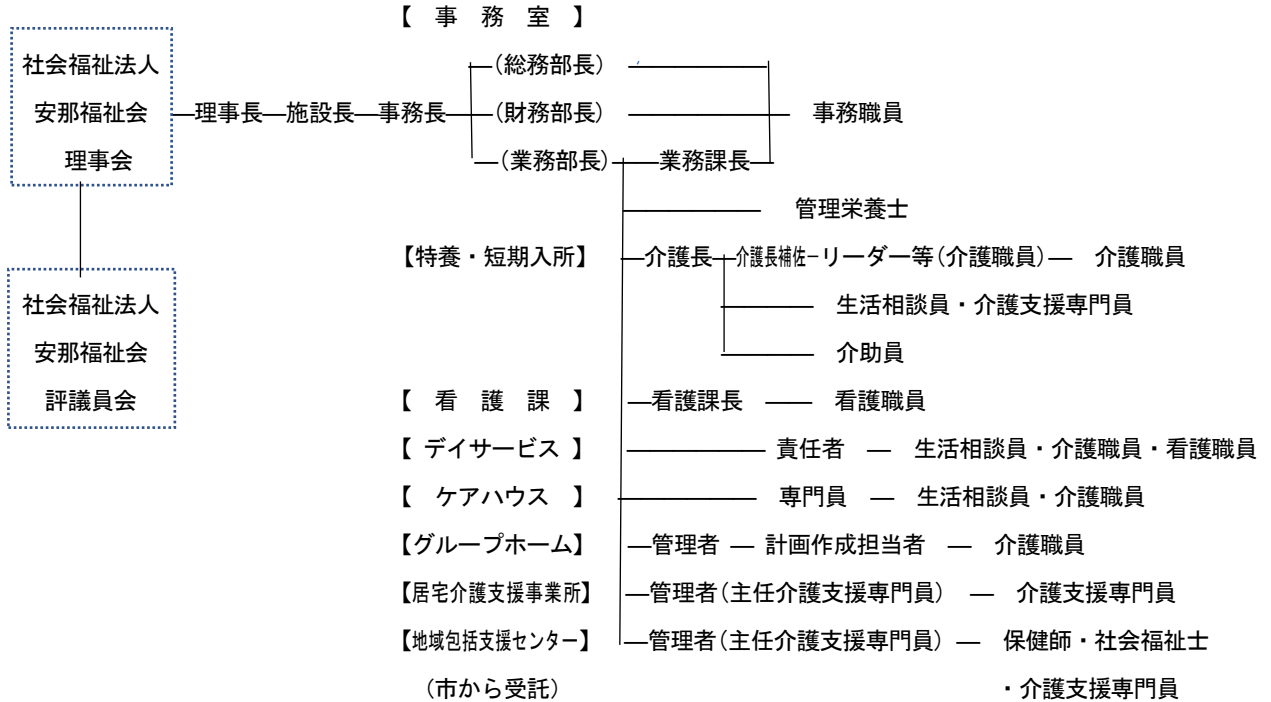
2. 法人業務の概要

(1) 事業所等の概要

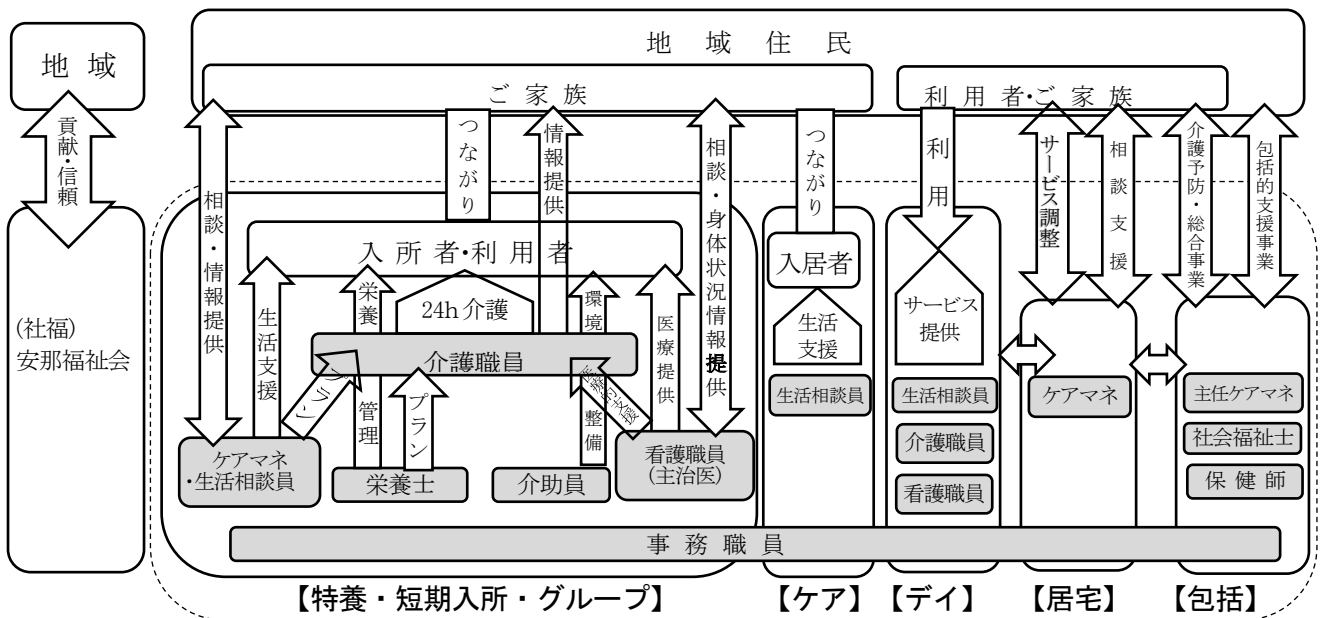
事業所等名称	事業開始年月日 (下線は開設当初)	定員 等	利用人員 (期末現在)	職員数 (R4.4.1 現在)	備 考
特別養護老人ホーム サンサンホーム	<u>1998(H10).1.1</u>	50	49	32	
ユニット型特別養護老人 ホーム サンサンホーム	2002(H14).4.1	40	40	27	一部ユニット型特養で開設、 現行認可 2014(H26).4.1
短期入所生活介護事業所 サンサンホーム	<u>1998(H10).1.1</u>	16	13	5	年間実利用者 53 人
デイサービスセンター サンサンホーム通所介護事業所	<u>1998(H10).1.1</u>	30	11.9 (1日平均)	7	年間実利用者 24 人
ケアハウス サンサンホーム	<u>1998(H10).1.1</u>	16	14	2	16 部屋(2 人部屋 4)
グループホーム サンサンホーム	2004(H16).4.1	9	9	7	開設 2 ユニット(12 人)を 2017(H29).10.1~1 ユニット
居宅介護支援事業所 サンサンホーム	1999(H11).10.1	—	年間 51 (実給付管理)	2	
福山市地域包括支援セン ターかんなべ	2006(H18).4.1	—	年間 1,900 (実相談者)	4	相談者は65歳以上高齢 者のみを計上
事務室等管理部門	—	—	—	7	
計	—	—	—	93	

※職員数は、産・育休者等を除く現員。

(2) 組織体制 (R4.4.1 現在)



● 総合力発揮のイメージ



(3) 業務推進体制(主な会議・委員会)

区分	協議内容	開催時期
部門責任者等会議	○法人全体の運営課題の検討・整理、各部門課題への助言	毎月
感染症対策委員会	○感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための対策検討	5月・8月・11月・2月 (合同委員会)
事故防止委員会	○介護事故発生の未然防止、再発防止などの検討 ○事故発生時の最善の処置、対応策の検討	
医療的ケア対策推進委員会	○医療従事者と介護職員の連携による医療的ケア(口腔内のたんの吸引、胃ろうによる経管栄養)の実施に関すること	
身体拘束廃止委員会	○身体拘束廃止に向け、身体拘束を実施せざるを得ない場合の検討など	
給食委員会	○利用者の状態にあった食事内容の検討 ○行事特別食など献立内容の確認調整	毎月
リーダー等会議	○現場主要課題(人材育成・情報化等)の協議・検討など	毎月(R3.9~)

3. 職員配置

(人員は4月1日現在)

①事業所別職員内訳

		(人)		
職 名		R3年度	R4年度	増減
事務	施設長	1	1	0
	事務長	1	1	0
	業務部長・業務課長	1	1	0
	事務員	4	4	0
	計	7	7	0
特養 (従来型)	生活相談員	0	0	0
	介護支援専門員	1	1	0
	管理栄養士	0	0	0
	機能訓練指導員	0	0	0
	介護職員	27	26	-1
	介助員	2	2	0
	看護職員	3	2	-1
	医師	1	1	0
計	34	32	-2	
特養 (ユニット型)	生活相談員	0	0	0
	介護支援専門員	1	1	0
	管理栄養士	1	0	-1
	栄養士	0	0	0
	機能訓練指導員	0	0	0
	介護職員	22	22	0
	介助員	1	1	0
	看護職員	2	3	1
計	27	27	0	
短期	生活相談員	1	1	0
	介護職員	4	4	0
	計	5	5	0
デイ	生活相談員	1	1	0
	介護職員	3	3	0
	看護職員	2	2	0
	運転手	0	1	1
	計	6	7	1
ケア	生活相談員	1	1	0
	介護職員	1	1	0
	計	2	2	0
居宅	主任介護支援専門員	1	1	0
	介護支援専門員	1	1	0
	計	2	2	0
グループ	計画作成担当者	1	1	0
	介護職員	7	6	-1
	計	8	7	-1
包括	保健師(看護師)	1	0	-1
	主任介護支援専門員	2	2	0
	社会福祉士	2	2	0
	介護支援専門員	0	0	0
	計	5	4	-1
小計(現員)		96	93	-3
育休他		2	1	-1
法人全体計		98	94	-4

②年齢別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区 分	R3年度	R4年度	増減	
18～19 歳	0	0	0	
20～29 歳	11	7	-4	
30～39 歳	27	26	-1	
40～49 歳	29	30	1	
50～59 歳	18	19	1	
60歳以上	11	11	0	
計	96	93	-3	

③勤務形態別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区 分	R3年度	R4年度	増減	
常勤 A	89	86	-3	
常勤的非常勤	2	2	0	
非常勤	5	5	0	
計 B	96	93	-3	
(参考) 常勤比率 A÷B	92.7%	92.5%	100.0%	

④職種別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区 分	R3年度	R4年度	増減	
介護職員	64	62	-2	
介護支援専門員(主任含む)	6	6	0	
生活相談員	3	3	0	
機能訓練指導員	0	0	0	
管理栄養士/栄養士	1	0	-1	
看護職員	7	7	0	
保健師	1	0	-1	
計画作成担当者	1	1	0	
社会福祉士	2	2	0	
事務員(施設長・事務長・業務課長含む)	7	7	0	
介助員	3	3	0	
医師	1	1	0	
運転手		1	1	
計	96	93	-3	

⑤男女別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区分	R3年度	R4年度	増減	
男	38	37	-1	
女	58	56	-2	
計	96	93	-3	

【増減の理由等】

- ①事業所別…年度中途退職者等に係る採用者が確保できなかったことから、全体人員(現員)が△3となった。
 ③勤務形態…常勤職員の比率が全国平均[参考:施設系(入所型)71.6%]と比較し、高い。

4. 財務状況

①法人全体

(1) 資金収支計算書

(内部取引消去して集計)

(単位：千円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
事業活動	収入			
	介護保険事業収入	591,507	590,288	1,219
	老人福祉事業収入	28,379	28,595	△ 216
	その他の収入	3,364	4,348	△ 984
	事業活動収入計(1)	623,250	623,231	19
	支出			
人件費支出	449,271	443,670	5,601	
事業費支出	83,213	85,854	△ 2,641	
事務費支出	79,182	86,965	△ 7,783	
その他の支出	2,066	2,318	△ 252	
事業活動支出計(2)	613,732	618,807	△ 5,075	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	9,518	4,424	5,094	
施設整備	入			
	施設整備等収入計(4)	852	5,737	△ 4,885
	出			
施設整備等支出計(5)	38,494	34,311	4,183	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 37,642	△ 28,574	△ 9,068	
その他	入			
	その他の活動収入計(7)	1,650	1,380	270
	出			
その他の活動支出計(8)	2,495	2,466	29	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 845	△ 1,086	241	
予備費支出(10)			0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 28,969	△ 25,236	△ 3,733	
前期末支払資金残高(12)	224,936	250,172	△ 25,236	
当期末支払資金残高(11)+(12)	195,967	224,936	△ 28,969	

(2) 事業活動計算書

(単位：千円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動	収益			
	介護保険事業収益	591,507	590,288	1,219
	老人福祉事業収益	28,379	28,595	△ 216
	その他の収益	2,294	2,557	△ 263
	サービス活動収益計(1)	622,180	621,440	740
	費用			
人件費	451,303	447,030	4,273	
事業費	83,213	85,854	△ 2,641	
事務費	79,182	87,462	△ 8,280	
その他の費用	25,765	23,966	1,799	
サービス活動費用計(2)	639,463	644,312	△ 4,849	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 17,283	△ 22,872	5,589	
サ活動外	益			
	サービス活動外収益計(4)	3,259	4,017	△ 758
	費			
サービス活動外費用計(5)	2,066	2,318	△ 252	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,193	1,699	△ 506	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 16,090	△ 21,173	5,083	
特別	益			
	特別収益計(8)	823	5,737	△ 4,914
	費			
特別費用計(9)	2,218	9,289	△ 7,071	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1,395	△ 3,552	2,157	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 17,485	△ 24,725	7,240	
繰越活動	前期繰越活動増減差額(12)	98,720	123,445	△ 24,725
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	81,235	98,720	△ 17,485
	積立金積立額等(14)(15)(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	81,235	98,720	△ 17,485

【増減の理由等】

- 資金収支…当期資金収支差額合計は、2,897万円のマイナスとなっている、これは、入院等による特養の利用率低下や職員人件費増と老朽化による器具等の購入による固定資産取得支出の増によるものである。
- 事業活動…当期活動増減差額についても、2期連続で1,749万円の赤字となっている。
(前年度：2,473万円の赤字)

②部門別

(1) 資金収支計算書

(内部取引消去して集計)

(単位：千円)

	収 入		支 出		合 計		
	当年度決算	前年度決算	当年度決算	前年度決算	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
法人	9	9	192	336	△ 183	△ 327	144
特養	216,643	221,621	236,908	240,757	△ 20,265	△ 19,136	△ 1,129
短期	52,931	49,612	38,559	39,429	14,372	10,183	4,189
通所	33,531	32,596	41,065	39,211	△ 7,534	△ 6,615	△ 919
居宅	6,639	8,297	9,583	10,785	△ 2,944	△ 2,488	△ 456
グループ	43,362	42,238	51,724	48,859	△ 8,362	△ 6,621	△ 1,741
在宅	1	1	1	1	0	0	0
ユニット	202,262	205,113	209,730	211,888	△ 7,468	△ 6,775	△ 693
ケア	28,742	28,644	29,026	24,478	△ 284	4,166	△ 4,450
包括	41,632	42,217	37,933	39,840	3,699	2,377	1,322
合計	625,752	630,348	654,721	655,584	△ 28,969	△ 25,236	△ 3,733
前期末支払資金残額					224,936	250,172	△ 25,236
当期末支払資金残額					195,967	224,936	△ 28,969

(2) 事業活動計算書

(経常業務を比較するため、サービス活動及びサービス活動外のみで集計)

(単位：千円)

	収 益		費 用		合 計		
	当年度決算	前年度決算	当年度決算	前年度決算	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
法人	9	9	192	337	△ 183	△ 328	145
特養	216,872	221,086	235,421	245,364	△ 18,549	△ 24,278	5,729
短期	52,930	49,530	37,745	38,259	15,185	11,271	3,914
通所	32,858	31,909	43,356	39,943	△ 10,498	△ 8,034	△ 2,464
居宅	6,639	8,133	9,628	10,691	△ 2,989	△ 2,558	△ 431
グループ	43,447	42,073	48,915	46,492	△ 5,468	△ 4,419	△ 1,049
在宅	0	0	178	178	△ 178	△ 178	0
ユニット	202,406	202,021	199,074	201,568	3,332	453	2,879
ケア	28,646	28,644	28,803	25,048	△ 157	3,596	△ 3,753
包括	41,632	42,052	38,217	38,750	3,415	3,302	113
合計	625,439	625,457	641,529	646,630	△ 16,090	△ 21,173	5,083

【増減の理由等】

(1) 資金収支…当年度の収入については、全体では460万円の減で、その内訳は新型コロナウイルス感染症対策等の補助金が1,552万円の減となっている。なお、介護保険事業収入（補助金を除く。）以下「事業収入」という。）は、1,105万円の増となっている。

また、支出については、全体では86万円の減で、その内訳は人件費560万円の増、固定資産取得支出560万円の増、事業費264万円の減、事務費778万円の減となっている。

各部門の主な理由は次のとおり。

特養は、補助金326万円の減、人件費442万円の減、事務費477万円の減、固定資産取得支出632万円の増。

短期は、事業収入314万円の増、人件費88万円の増、繰入金支出300万円の増。

通所は、事業収入60万円の増、人件費192万円の増、繰入金収入400万円の増。

居宅は、事業収入135万円の減、人件費78万円の減、繰入金収入100万円の増。

グループホームは人件費287万円の増、繰入金収入300万円の増。

ユニットは、施設整備補助金375万円の減、繰入金支出650万円の増。

包括は、事務費123万円の減。

(2) 事業活動…当年度の黒字は短期、ユニット型特養、包括で、当年度の収入及び支出について主な理由は上記の通りである。経常業務の収支差額合計は、前年度2,117万円の赤字から少し改善し1,609万円の赤字となった。

5. 年間行事

月	事業所行事	会議等	施設整備・訓練等
4	上旬 お花見会	15, 19 職員会議	
5			
6	11,12 デザートバイキング	理事会 評議員会	自動火災報知設備の受信機交換 ワクチン接種1回目
7			ワクチン接種2回目
8			24 消防避難訓練
9			本館ガスバルク交換
10			5 非常食提供訓練 新館エアコン取付工事
11	19 施設内ショッピング 24 握り寿司バイキング	26 理事会	
12	10 餅つき 17 座談会 22, 23 クリスマス会		ケアハウス エレベーター修理
1			
2	上旬 節分豆まき		ワクチン3回目接種
3		18 理事会 29 評議員会	ワクチン3回目接種
通年	▽誕生日会(毎月随時) ▽クッキング(毎月随時) ▽理美容(9、3月除 各月中旬) ▽PT指導(各月第2火)	▽部門責任者等会議(各月第1木) ▽特養ユニット会議・リーダー等会議 ▽カンファレンス(毎週水) ▽出張いきいき学習・相談会 (毎月第3水・木・金)【包括】	

○ 主な行事の事業トピック

- 夏祭り(8月27日)・・・開催中止
例年、当施設最大の行事である夏祭りの開催準備を進めていましたが、広島県にまん延防止等重点措置(期間8月20日～9月12日)が適用されたことから開催中止としました。
- 敬老会(9月10日)・・・全体での開催を中止し、各ユニットで開催
敬老会の開催準備を進めていましたが、広島県にまん延防止等重点措置(期間8月20日～9月12日)が適用されたことから開催中止とし、ユニット単位でお祝い品の贈呈、祝い膳の提供、カラオケ大会等を実施。例年参加されている中条保育所の園児が描いた絵をプレゼント。
本年度の祝い年の入所者は18名。最高齢は、105歳。
- 非常食提供訓練(10月5日実施)
自然災害や緊急事態への備えの一環として行う訓練。(毎年実施)
停電を想定し、ガスコンロで湯を沸かし、常備している高齢者用レトルト五目御飯を温め、インスタントの味噌汁、鉄分を多く含むタンパク質ゼリーを提供。災害時でも最低限の栄養を確保できるメニューを調理。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 従来型(多床室) 定員50名

①地域別入所者状況 (3月31日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
入所人員	49(男7、女42)	49(男8、女41)	0
神辺町内	35	32	-3
福山市(神辺町以外)	12	14	+2
福山市外	2	3	+1

②入退所者の状況

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
新規入所	9(男1、女8)	12(男1、女11)	+3
退所	9(男1、女8)	13(男1、女12)	+4

③要介護認定状況 (3月31日現在)

介護度	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
要介護1	0	0	0
要介護2	1	0	-1
要介護3	6	6	0
要介護4	21	22	+1
要介護5	21	21	0
合計	49	49	0
平均 要介護度	4.27	4.31	+0.04

(参考) 経管栄養摂取人数

令和2年度	令和3年度
5	5

④入所状況の推移

区 分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	前年度比増減
平均年齢(歳)	88.8	89.1	87.1	88.8	89.5	0.7
平均要介護度	4.06	4.29	4.41	4.27	4.31	+0.04
退所者数(人)	16	6	10	9	13	+4
延空床日数(日)	317	383	310	233	548	+315
年間延入所者数(日)	17,933	17,868	17,990	18,017	17,702	-315
入所利用率(%)	98.3%	97.9%	98.3%	98.7%	97.0%	-1.7%

※平均年齢、平均介護度は3月31日現在

※入所利用率=年間延入所者数÷年間延定員数×100 (年間延定員数:50人×365日 ※R元年度は366日)

※空床短期利用を含む

【増減の理由等】

④入所状況の推移…昨年度と比較し、入退所者数の増や入院日数の増などにより、空床期間が増加し、入所利用率が減となった。

(2) ユニット型(個室) 定員40名

①地域別入所者状況(3月31日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
入所人員	39(男6, 女33)	40(男7, 女33)	0(男+1, 女0)
神辺町内	28	26	-2
福山市(神辺町以外)	8	8	0
福山市外	3	6	+3

②入退所者の状況

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
入所者	10(男1, 女9)	11(男4, 女7)	+1
退所者	10(男2, 女8)	10(男3, 女7)	0

③要介護認定状況(3月31日現在)

介護度	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
要介護1	0	0	0
要介護2	1	0	-1
要介護3	12	9	-3
要介護4	13	16	+3
要介護5	13	15	+2
合計	39	40	+1
平均 要介護度	3.97	4.15	+0.18

(参考)経管栄養摂取人数

令和2年度	令和3年度
5	5

④入所状況の推移

区 分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	前年度比増減
平均年齢(歳)	90.4	90.9	89.7	90	91.4	1.4
平均要介護度	4.05	4.03	4.03	3.97	4.15	+0.18
退所者数(人)	10	9	13	10	10	+0
延空床日数(日)	206	139	512	390	403	+13
年間延入所者数(日)	14,394	14,461	14,128	14,210	14,197	-13
入所利用率(%)	98.6%	99.0%	96.5%	97.3%	97.2%	-0.1%

※平均年齢、平均介護度は3月31日現在

※入所利用率=年間延入所者数÷年間延定員数×100 (年間延定員数:40人×365日 ※H27・R元年度は366日)

【増減の理由等】

④入所状況の推移…前年度と比べ、入退所者の人数に増減はなかったが、入院による空床期間がやや増えたことにより、入所利用率が微減となった。

(3)ショートステイ（短期入所生活介護） 定員16人

①利用状況

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減
延 利 用 日 数	4,491	5,091	4,681	4,669	4,907	+238
延 利 用 者 数	833	788	758	239	247	+8
延 実 利 用 者 数	419	428	437	217	235	+18
送 迎 回 数	1,155	960	939	92	77	-15
1日平均利用者数	12.2	13.9	12.8	12.8	13.5	+0.7
利 用 率 (%)	76.9%	87.2%	79.9%	79.9%	84.0%	+4.1

※利用率＝年間延利用日数÷年間延定員数×100（年間延定員数：16名×365日 ※但しR元年度は366日）

②入所者状況

区 分		令和2年度	令和3年度	増減
年間実利用数		47（男性11・女性36）	53（男性14・女性39）	+6（男性+3・女性+3）
内 訳	新規	13	29	+16
	既存	34	24	-10
地 域 別	神辺町	34	35	+1
	福山市 (神辺町以外)	7	6	-1
	福山市外	6	12	+6

③要介護認定状況（3月31日現在）

介護度	令和2年度	令和3年度	増減
要支援1	0	0	0
要支援2	1	1	0
要介護1	8	4	-4
要介護2	9	4	-5
要介護3	13	15	+2
要介護4	13	21	+8
要介護5	3	8	+5
合計	47	53	+6

※要介護度は最終利用時

【増減の理由等】

①利用状況…新型コロナウイルス感染防止対策（新規利用者の受け入れを原則禁止等）を地域の感染状況に応じて行っている。新たな居宅介護支援事業所からの利用依頼が増え、これに応えたことで、利用率、利用者数（新規契約者数も含む）が増となった。また、前年度と同様、感染防止対策を行っていることから、送迎回数は減となった。

②入所者状況…新型コロナウイルスの感染防止対策で、新規利用者の受け入れを原則中止している中でも、今年度は53人の契約者が利用され、前年度と比べ、6人の増となった。

（参考）

令和2年度の実利用者47人の内、短期利用から9人が当施設に入所。（特養：7人／グループホーム：2人）

令和3年度の実利用者53人の内、短期利用から16人が当施設に入所。（特養：15人／グループホーム：1人）

7. ケアハウス (軽費老人ホーム) 定員20名 (2人部屋:4、1人部屋:12 計16部屋)

①入居者要介護度(各年度末時点)(人) ②入居者年齢(各年度末時点)(人、歳) ③入居者前住所 (人)

区分	令和2年度	令和3年度
自立	1	1
要支援1	7	6
要支援2	3	3
要介護1	4	3
要介護2	0	1
要介護3	0	0
要介護4	0	0
要介護5	0	0
合計	15	14

区分	令和2年度	令和3年度
60～69	1	1
70～74	1	2
75～79	2	2
80～84	2	2
85～89	2	2
90～94	4	1
95～99	3	3
100～	0	1
平均	85.9	84.6

区分	令和2年度	令和3年度
神辺町	9	9
福山市 ※神辺町 を除く	3	2
井原市	1	1
笠岡市	1	1
世羅郡	1	1
合計	15	14

④病院受診状況 (人)

区分	令和2年度	令和3年度
延受診	141	145
入院	3	3

⑤介護保険サービス利用状況 (人)

区分	令和2年度	令和3年度
ホームヘルパー	7	5
デイサービス・デイケア (サンサンホーム)	12	11
(その他)	0	0
福祉用具貸与	5	6

⑥活動状況 (人)

区分	令和2年度				令和3年度			
	実施状況	延回数	延参加人数	1回平均	実施状況	延回数	延参加人数	1回平均
ドライブ	随時	7	38	5.4	随時	4	19	4.8
脳トレ	毎週	50	702	14.0	毎週	52	769	14.8
園芸クラブ	6月	1	1	1.0	6月	0	0	0.0
クッキング	随時	2	6	3.0	随時	2	10	5.0
買物会	毎週	68	381	5.6	毎週	48	552	11.5
誕生会	随時	11	138	12.5	随時	13	143	11.0
食事会(外食含む)	随時	4	52	13.0	随時	4	47	11.8

⑦行事

4月	お花見ドライブ	10月	
5月		11月	紅葉ドライブ・寿司バイキング・施設内ショッピング
6月		12月	お餅つき・クリスマス会
7月	七夕会	1月	新年会
8月	デザートバイキング・避難訓練	2月	
9月	ケアハウス敬老会	3月	

【増減の理由等】

- ・入居者数は、年度末時点では14名であり(前年は15名)、2部屋空室となっている。
- ・入居の問い合わせはあっても、認知症の程度・病状、心身の状態により受入れが困難で入居に繋がらなかった。
- ・満室利用とするため、地域包括への空室情報提供や、紹介事業所への登録など、営業の取組を行っている。

【参考】 R3年度 入・退居の状況

退居:4名 (退居後の行先)当ショートステイ…1名、当グループホーム…1名、特定施設…1名、自宅(終末期ケア)
新規入居:3名

8. デイサービス

①利用者数の年度別推移

(人)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減
延実施日数	309	308	309	295	309	+14
延利用者数	4,511	3,880	3,946	3,426	3,664	+238
1日平均利用者数	14.6	12.6	12.8	11.6	11.9	+0.3
利用率	48.7%	42.0%	42.6%	38.7%	39.5%	0.8%

※利用率＝年間延利用者数÷年間延定員数×100（延定員数：30名×延実施日数）

②要介護度別利用者数

(人)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減
事業対象	0	0	0	0	21	+21
要支援 1	181	163	110	51	27	-24
要支援 2	475	315	115	98	128	+30
要支援計	656	478	225	149	176	+27
要介護 1	1,686	1,187	892	1,189	1,550	+361
要介護 2	721	1,148	1,124	856	691	-165
要介護 3	654	304	681	340	934	+594
要介護 4	653	389	454	417	179	-238
要介護 5	12	268	332	357	16	-341
要介護計	3,726	3,296	3,483	3,159	3,370	+211
体験・実費利用	129	106	236	116	109	-7
総計	4,511	3,880	3,944	3,424	3,655	+231

③介護度別登録者数

(人)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減
要支援 1	4	3	1	1	0	-1
要支援 2	4	2	1	1	1	0
要支援計	8	5	2	2	1	-1
要介護 1	12	9	10	5	9	+4
要介護 2	8	9	9	5	8	+3
要介護 3	7	3	5	1	4	+3
要介護 4	7	3	4	3	2	-1
要介護 5	1	3	2	1	0	-1
要介護計	35	27	30	15	23	+8
総計	43	32	32	17	24	+7
うち新規契約者数		10	7	4	16	+12

④サービス別利用者数

(人)

区分	令和2年度					令和3年度				
	入浴		給食		機能訓練	入浴		給食		機能訓練
	実人数	延人数	実人数	延人数	延参加者数	実人数	延人数	実人数	延人数	延参加者数
要支援	2	134	2	149		1	149	1	154	
要介護	15	2,704	15	3,161	766	23	2,462	23	3,062	993
合計	17	2,838	17	3,310	766	24	2,611	24	3,216	993

【増減の理由等】

- ①利用者数・・・前年度と比較し、利用者数が増となった。これは、居宅事業所への利用促進の取組により、新たな利用事業所が3所となり、新規利用者が16名と前年度の4名から大幅増となった。
- ④サービス別利用者数・・・利用者ニーズにあった参加プログラムの工夫など個別機能訓練の体制充実などにより、参加者数が大幅に増加した。

9. 居宅介護支援事業所

①登録・給付件数の推移

(件、人)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年増減
介護	登録	69	68	68	57	49	-8
	給付 ※A	64	57	58	47	42	-5
予防給付(委託) ※B		38	23	6	8	9	+1
給付管理件数 A+B		102	80	64	55	51	-4
申請 代行	新規・更新	70	42	50	10	18	+8
	区分変更	12	7	12	7	6	-1
職員数		3	3	2	2	2	0

②要介護度別利用者

(人)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年増減
要支援	472	466	146	76	109	+33
要介護1	359	373	332	217	165	-52
要介護2	168	172	193	160	114	-46
要介護3	130	102	108	129	85	-44
要介護4	89	61	71	73	89	+16
要介護5	20	54	32	40	39	-1
合 計	1,238	1,228	882	695	601	-94

③福祉サービス等申請代行

(件)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年増減
計画作成依頼届	15	12	21	8	6	-2
住宅改修	0	1	2	0	1	+1
高額介護サービス費支給	0	0	0	0	0	0
負担限度額	0	0	0	0	0	0
家族介護用品支給	0	1	0	0	0	0
福祉用具購入費支給	0	0	2	1	0	-1
食費助成	0	0	0	0	0	0

【増減の理由等】

- ①登録・給付件数の推移…増減については介護給付・予防給付ともに管理者長期療養のため新規受入れが難しい状況にあった。
 また、死亡、施設入所、長期入院などの理由から契約終了となっている。
 更新申請については、介護保険認定期間が長くなったため、申請を行わない状況が発生している。

10. グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

定員 9名

①地域別入居者状況（3月31日現在） (人)

区 分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
入居人員	9 (男3、女6)	9 (男4、女5)	0
神辺町	8	9	+1
福山市(神辺町以外)	1	0	-1

②入所の状況 (人)

区 分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
新規入居	4 (男2、女2)	2 (男1、女1)	-2
退居	4 (男2、女2)	2 (男0、女2)	-2

③年齢別入居者状況 (人、歳)

区 分	令和2年度	令和3年度	増減
65～69	0	0	0
70～74	0	0	0
75～79	0	0	0
80～84	0	0	0
85～89	3	5	+2
90～94	2	1	-1
95～100	4	3	-1
合計	9	9	0
平均年齢	93.2	92.0	-1.2

④要介護認定状況 (人)

介護度	令和2年度	令和3年度	増減
要支援2	0	0	0
要介護1	3	6	+3
要介護2	0	1	+1
要介護3	2	0	-2
要介護4	1	0	-1
要介護5	3	2	-1
合計	9	9	0
平均 要介護度	3.1	2.0	-1.1

【増減の理由等】

③年齢別入居者状況

- ・入居者の平均年齢が低くなった理由としては、100歳台の入居者が退居されたため。

④要介護認定状況

- ・平均介護度が前年に比べ軽くなった理由としては、介護度が高い入居者が退居された事に加え、介護度が低い方が複数入居されたため。

11. 地域包括支援センター

① 相談者数 (人)

区分	実人数	うち新規	延人数
令和3年度	1,900	651	4,372
令和2年度	1,774	642	3,932

② 相談者の内訳 ※延件数 (人)

区分	本人	家族	民生委員	介護支援 専門員	介護保険サー ビス事業	医療機関	認知症初期集中 支援チーム	認知症推 進員	関係機関	その他	合計
令和3年度	1,457	1,478	75	777	1,083	264	1	12	216	70	5,433
令和2年度	1,441	1,312	63	505	898	233	8	54	203	66	4,783

③ 相談内容 ※延件数 (件、人)

区分	高齢者 虐待	成年後見	処遇困難	ケアマネ 支援	介護保険 非該当	認知症	介護保険サービス		介護予防・生活支援サービス		
							要支援者	その他(要介護)	事業対象者	要支援者	その他
令和3年度	10	7	43	44	9	418	1,690	1,299	273	859	109
令和2年度	7	5	28	52	3	281	1,455	1,059	335	854	46

区分	介護保険外(生 活支援サービ ス)サービス	配食 サービス	福祉 サービス	医療に関す ること	介護者の離職防 止に関すること	その他
令和3年度	5	48	39	163	0	163
令和2年度	0	33	16	50	0	186

④ 介護予防・日常生活支援サービスに係るケアプラン作成件数 (件)

区分	介護給付併用①	介護予防・生活支援サービス②				合計
		小計	ケアマネジメントA	ケアマネジメントB	ケアマネジメントC	
令和3年度	2,256	1,195	1,179	6	0	3,451
令和2年度	2,258	1,283	1,276	6	1	3,541

⑤ 介護予防支援給付管理数 (件)

区分	委託		包括		合計
	新規	継続	新規	継続	
令和3年度	51	1,663	64	1,673	3,451
令和2年度	20	1,917	42	1,562	3,541

⑥ 警察との連携協定に関すること(再掲)

1. 対応件数 (件)

対応方法	合計	再掲		
		相談票発出	同意書発出	同意書の受理
件数	5	0	0	5

2. 同意書受理後の対応方法 (件)

対応方法	訪問		来所		電話
	警察の動 向無	警察の動 向有	警察の動 向無	警察の動 向有	
件数	3	0	1	0	9

⑦地域包括支援センター活動報告

1. 地域包括支援センターの機能強化に係る活動 (回、人)

区 分	2021年度(R3年度)		2020年度(R2年度)	
	参加回数	参加者数	参加回数	参加者数
地域ケア会議(個別)	2	21	1	8
地域ケア会議(圏域)	0	0	4	131
地域ケア向上事業(認知症相談)	0	0	0	0
認知症ケア向上事業(居場所づくり)	2	19	3	47
一般介護予防教室	18	180	22	274

2. 地域包括支援センターが開催する会議・研修 (回、人)

区 分	2021年度(R3年度)		2020年度(R2年度)	
	参加回数	参加者数	参加回数	参加者数
ケアマネ連絡会議	1	23	1	29
サービス事業所・施設連絡会議	0	0	0	0
その他	11	69	14	68

3. 関係機関等が開催する会議・説明会への出席 (回、人)

区 分	2021年度(R3年度)		2020年度(R2年度)	
	参加回数	参加者数	参加回数	参加者数
民協区定例会	2	4	2	3
地域組織の会議(自治会等)	0	0	0	0
GH・小規模多機能運営推進会議	1	1	1	1
地域包括支援センター連絡会(市主催)	12	15	9	10
地域包括ケアシステム推進会議	3	3	0	0
自立支援型地域ケア会議(市主催)	2	4	3	5
第2層協議体	2	2		
医療介護連携に係る会議・研修	0	0	0	0
その他	13	19	17	25

4. 地域で開催される事業・行事への参加 (回、人)

区 分	2021年度(R3年度)		2020年度(R2年度)	
	参加回数	参加者数	参加回数	参加者数
居場所づくり	0	0	2	3
百歳体操	3	4	1	2
プラザ等での健康教室	0	0	0	0
地域団体等(福祉を高める会、自治会等)	1	2	0	0
住民・人権学習会	0	0	0	0
敬老会・文化祭・福祉祭	0	0	0	0
その他	0	0	1	2

5. 啓発活動の内容 (回)

区 分	2021年度(R3年度)	2020年度(R2年度)
	回数	回数
介護予防関係	16	17
総合相談関係(介護等の相談会)	1	6
権利擁護関係	4	4
認知症予防関係	12	18
地域ネットワークづくり関係	19	22
その他	4	5

6. 地域包括支援センター職員の研修への参加 (人)

区 分	2021年度(R3年度)	2020年度(R2年度)
	参加人数	参加人数
地域包括支援センター職員初任者研修、現任研修Ⅰ・Ⅱ	0	0
主任介護支援専門員研修	0	12
その他地域包括支援センター職員研修	7	0
介護予防支援関係研修	11	2
在宅医療・介護連携関係	4	1
認知症支援関係	3	1
生活支援体制整備関係	0	0
権利擁護、高齢者虐待防止、対応関係	2	2
福祉用具・住宅改修関係	0	0
障がいに関すること	1	0
その他	4	4

7. ケアマネ支援について (件)

区 分	2021年度(R3年度)	2020年度(R2年度)
	件数	件数
リハビリテーション・福祉用具の活用に関すること	6	0
看取り等における看護サービス利用に関すること	2	1
認知症に関すること	11	10
入退院時等医療との連携に関すること	4	1
家族への支援に関すること	8	18
社会資源の活用に向けた関係機関との調整に関すること	2	2
状況に応じた多様なサービスの活用に関すること	9	15
その他	2	5
計	44	52

【増減の理由等】

- ・前年度と比較し、介護保険の請求人数は減少しているが、本年度より業務委託した場合委託連携加算が付くようになったため請求金額の増減は見られなかった。
- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延により相談数が増加傾向にあり、家族から医療に関する事や認知症の相談が多く、特に遠方の家族からの相談が増えている。
- ・新規申請者は増加傾向にあるが住宅改修や福祉用具購入など請求には至っていない。
- ・相談内容では処遇困難も増え、解決までに時間が掛るケースが多いため延べ人数は増加。
- ・委託先の介護支援専門員からの相談や、コロナ発生に関する事で事業所からの相談も増えている。
- ・地域包括支援センター機能強化に係る活動は、自立支援型の地域ケア会議の目標回数を設定し、来年度も取り組む予定。
- ・福山市における認知症高齢者等対策の推進において、福山市が管轄する各警察署と連携し、認知症高齢者等の支援を効果的に行うために包括支援センターへも対応依頼の「同意書」が求められるようになった。

12. 食事サービス

①行事食提供回数

(回)

区 分	令和2年度				令和3年度			
	特養	デイ	ケア	グループ	特養	デイ	ケア	グループ
誕生会	7	9	9	0	27	13	13	0
食事会	4	4	0	0	19	11	1	1
クッキング	36	33	1	3	55	15	1	5
祝祭日 ※1	10	8	9	9	2	2	2	2
季節行事 ※2	18	15	17	17	19	21	17	18
非常食提供訓練	1	0	1	1	1	0	1	1
バイキング	4	2	2	2	7	6	1	2
総数	80	71	39	32	130	68	36	29

※1 祝祭日…こどもの日、元旦

※2 季節行事… 花見、母の日、父の日、七夕、土用の丑の日、縁日、敬老会、彼岸法要、餅つき、冬至、クリスマス、大晦日、七草、鏡開き、新年会、節分、雛祭り

②年間食事提供状況

区 分	令和2年度	令和3年度	
年間給食日数(日)	365	365	
年間給食延食数(食)	119,920	118,727	
年間給食延人員(人)	39,973	39,576	
1日平均 給食人員 (人)	特養	76.5	74.8
	ショート	11.9	13.2
	ケア	11.6	11.9
	グループ	8.6	8.9
	デイ	11.2	11.3
	職員	15.5	14.6
	計	135.3	134.7

③特別食提供状況

(人)

区 分	令和2年度	令和3年度
(1,300kcal)	-	-
糖尿食 (1,200kcal)	0.9	1.0
(1,100kcal)	0.3	-
潰瘍食	-	0.7
減塩食 (腎臓・心臓疾患)	2.3	2.0
貧血食	3.0	1.3
加算対象	6.8	4.8

※1ヶ月平均

【増減の理由等】 ※令和2年度分よりクッキングの回数を記載。前年度までは食事会回数に含む。

・新型コロナウイルス感染防止のため外出を自粛しており、『食』を通して日常に変化と楽しみを見出していただくため、誕生会・食事作り・クッキングの内容を充実させ回数が増加した。

13. 保健衛生

① 嘱託医による診察

(回、人)

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
内科回数	93	95	+2
受診者延数	2,232	2,197	-35
歯科回数	123	137	+14
受診者延数	974	1,116	+142

(内科=火・金、歯科=月・水・木)

③入院状況

(人、日)

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
人数	17	26	+9
日数	349	736	+387

④ ショートステイ利用者 外来受診状

(人、日)

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
人数	20	21	+1
日数	27	31	+4

②外来受診者延人数

(人)

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比増減
内科	52	57	+5
精神科	14	13	-1
皮膚科	19	4	-15
眼科	17	3	-14
整形外科	36	41	+5
形成外科	2	0	-2
脳神経外科	6	6	0
歯科	0	4	+4
肛門科	1	0	-1
耳鼻科	0	6	+6
泌尿器科	10	6	-4
口腔外科	0	2	+2
乳腺外来	5	6	+1
合計	162	148	-14

⑤ 感染症取組状況

(1) インフルエンザ

(人)

感染者数		取組・対応
利用者	職員	感染対策を徹底する事により、今季のインフルエンザ発生をおさえる事ができた。
0	0	

(2) ノロウイルス

(人)

感染者数		取組・対応
利用者	職員	11月から3月の間に嘔吐した利用者に対してはノロウイルスの疑いがあるとし、隔離・使用した物・場所全て消毒の徹底。
0	0	

(3) 新型コロナウイルス

感染者数		取組・対応
利用者	職員	・定期的な職員の抗原検査の実施、感染予防対策、県からの蔓延防止などの周知徹底などを行い、利用者のコロナ感染を0に抑えることができた。 ・職員は、毎日検温・体調管理等の基本的な感染予防対策を継続実施している。
0	4	

【増減の理由等】

②外来受診者延数…全体では減少しており、皮膚科、眼科受診の影響が大きく、内科は微増している。

③入院状況…入所者の要介護度が高くなり、また、家族の受診希望や入院対応などが多くなっており、昨年度と比較し、入院日数が大幅に増加している。

14. ボランティア活動の状況

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から受入れを全面的に中止

<参考> 令和元年度の実施状況

日付	来客者氏名(団体名)	人数	内 容	利用者参加状況			
				特養・ユニット	通所	グループ	ケア
4月15日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
4月18日	萩原加千子様	1	琴演奏	○	○	○	○
5月23日	吉川勝弘様	1	ハーモニカ演奏		○		
5月30日	野菊の会	15	銭太鼓踊り	○	○	○	○
6月6日	第32区民生委員	20	歌、劇、ビンゴゲーム	○	○	○	○
6月14日	ホープ・フル・クローバー	2	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
6月18日	日舞 中村流 明日香会	10	日本舞踊	○	○	○	○
6月21日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
6月24日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
6月26日	民生委員(中条地区)	12	清掃ボランティア	○			
6月27日	ほたるの会	9	琴演奏	○	○	○	○
7月4日	七夕コンサート(奥野純子様)	2	オペラ・童謡	○	○	○	○
8月6日	昭和歌劇団	5	カラオケ、手遊び歌	○	○	○	○
8月9日	備後ハッピー交友会	13	歌、踊り	○	○	○	○
8月22日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
8月26日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
9月9日	ハーラル・フラ・オ・カ・レオ・マルヒア	8	フラダンス	○	○	○	○
9月18日	ホープ・フル・クローバー	2	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
10月24日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
10月25日	萩原加千子様	1	琴演奏	○	○	○	○
10月29日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
11月4日	和太鼓遊人会「打達」	5	和太鼓演奏	○	○	○	○
11月14日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
11月15日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
11月20日	駅家ハーモニカフレンズ	14	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
12月5日	金島えみ子様	4	しめ縄作り		○	○	○
12月10日	クリスマスコンサート(奥野純子様)	2	オペラ・童謡	○	○	○	○
12月20日	暁の星高校	4	カレンダータペストリー持参				○
1月17日	第33区民生委員(御野学区)	13	清掃ボランティア	○			
1月24日	ホープ・フル・クローバー	2	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
1月31日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
2月20日	第33区民生委員(竹尋学区)	11	清掃ボランティア	○			
令和元年度計		168					
平成30年度計		164					